情報の入手方法

狛江市が発信する情報はこちらで入手

●狛江市公式ホームページ
https://www.city.komae.tokyo.jp/
狛江市の情報はまずはこちらをチェック!

●狛江市洪水ハザードマップ案内ページ
https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/42,62393,328,2045.html
狛江市公式ホームページでは、web版狛江市防災マップ・洪水ハザードマップを公開しています。特定の場所の洪水想定浸水深を確認する機能やハザードマップを印刷する機能があります。

●狛江市公式SNSアカウント
狛江市公式ホームページから移動できます。
ツイッター
名前：狛江市、ユーザー名(ID)：@KomaeCity
フェイスブック
名前：東京都狛江市、ユーザー名(ID)：@KomaeCity

●防災行政無線
聞き取れなかった場合は、下記の番号で確認できます。
防災行政無線自動応答システム
電話 0800(800) 0504
(通話料無料、24時間対応)

●こまえ安心安全情報メール
避難情報や避難所の開設状況などの災害情報や防犯情報を受信できます。
https://anzen-komae.jp/komae/entry か、右の二次元コードから登録できます。

●Yahoo! 防災速報(アプリ)
地震や豪雨などの気象情報の他、狛江市の緊急情報などを入手できます。

●緊急速報メール・エリアメール
事前登録不要。市内にいる方のNTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天の携帯電話、スマートフォンに、災害情報などが一斉配信されます。

●テレビのデータ放送
テレビのリモコンのdボタンを押して、NHKのデータ放送画面から河川の水位や狛江市が発信した避難情報などを確認できます。

●コマラジ(85.7MHz)
狛江のコミュニティFM。災害が発生した際に、避難所の情報や、狛江市の避難情報、支援情報などを入手できます(ListenRadio(リスラジ)アプリをインストールするとスマートフォンでコマラジを聴くことができます)。

●樋管水位情報(多摩川)
https://komae-hikan-suii.jp/
六郷・猪方排水樋管に設置された水位計・監視カメラの情報や映像を確認できます。

河川に関する情報はこちらで入手

多摩川の水位情報とライブカメラ
国土交通省京浜河川事務所ホームページ
https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index009.html

Yahoo!天気・災害(河川水位情報)
多摩川と野川の水位がどちらも確認できます。
https://typhoon.yahoo.co.jp/weather/river/

河川の様子を見に、水位が増した河川や橋に近づくのは大変危険です。
必ず安全な室内で、テレビやラジオ、インターネットから情報を入手してください。

多摩川の観測地点は石原水位観測所、野川の観測地点は大沢池上水位観測所です。

◀石原水位観測所
(調布市多摩川3丁目)

大沢池上水位観測所▶
(三鷹市大沢6丁目)

官公庁等の情報はこちらで入手

●気象庁
ホームページ　https://www.jma.go.jp/
ツイッター
名前：気象庁
ユーザー名(ID)：@JMA_kishou

●国土交通省「川の防災情報」
ホームページ　https://www.river.go.jp/
ツイッター(国土交通省)
名前：国土交通省
ユーザー名(ID)：@MLIT_JAPAN

●東京都防災
ホームページ
https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/
ツイッター
名前：東京都防災
ユーザー名(ID)：@tokyo_bousai

●Yahoo! 天気・災害
https://weather.yahoo.co.jp/weather/
地震や気象情報の他、多摩川や野川の水位も確認できます。

立退き避難の注意点

自主的に行動する

●テレビやラジオで最新の気象情報や避難情報を積極的に確認しましょう。
●危険を感じたら、避難情報の発令を待たずに自主的に避難を開始しましょう。
●近所に高齢者など避難行動に時間のかかる要配慮者がいる場合は、声をかけて一緒に避難しましょう。
●知人宅などに避難するときは、公共交通機関が動いているうちに、早めの避難を心がけましょう。

行動と服装

●単独行動は厳禁(2人以上で)
●動きやすい服装で避難を。
●非常持ち出し品を忘れずに。
●長靴は水中で足を取られて危険です。運動靴を履きましょう。

家を出る前にチェック!

●ガスの元栓を閉めましたか?
●電気のブレーカーを切りましたか?
●避難することを親戚や知人に連絡しましたか?

歩く際の注意点

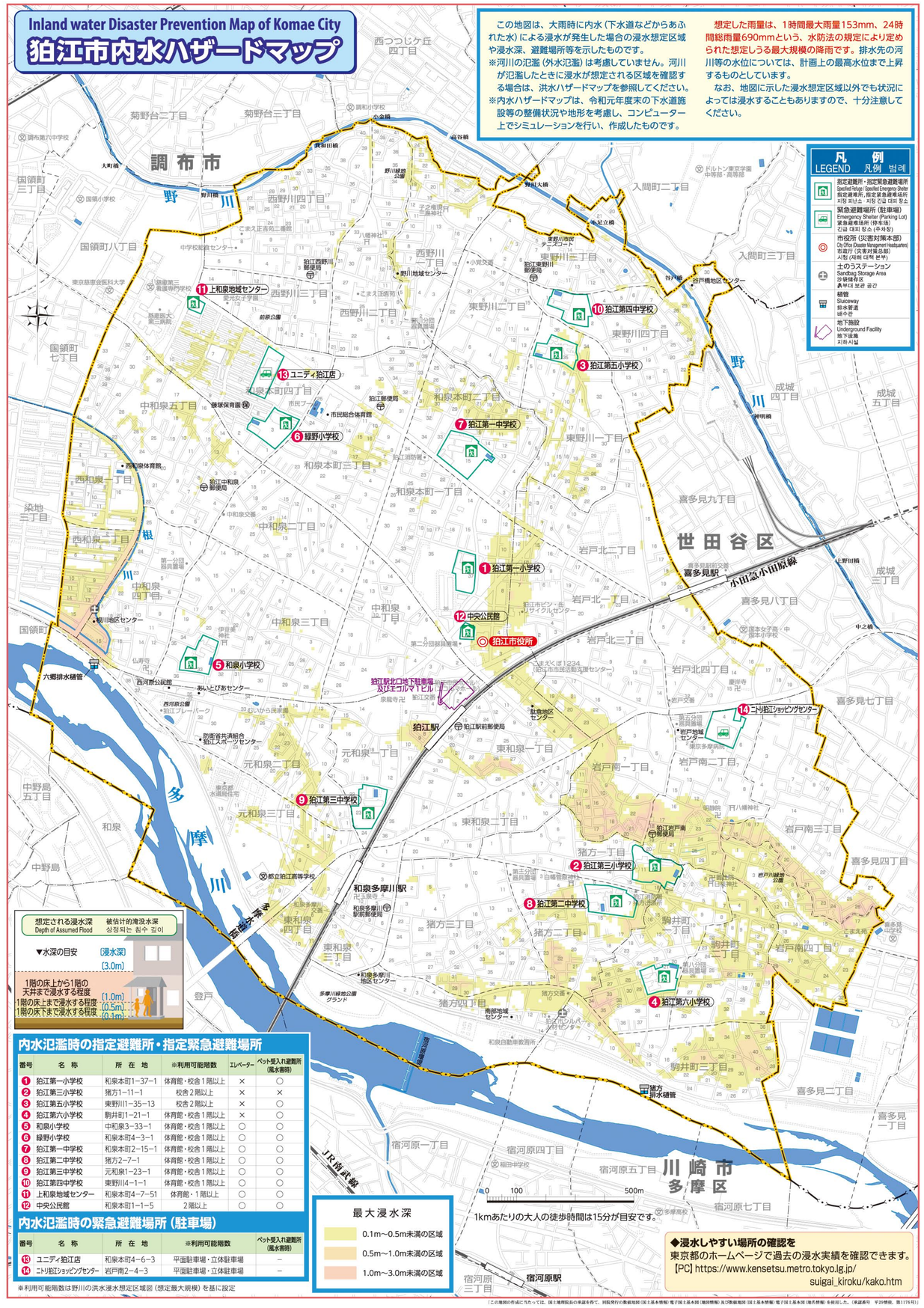
●人が歩ける水深は50cm程度。流れが速い場合は浅くても危険!
●長い棒や傘を杖代わりにして、側溝やマンホールの蓋が外れていないか確認して歩きましょう。

危険な状況では車で避難しない

●冠水した道路では車が動かなくなります。また水深が増すと車ごと流される危険もあります。
●車での避難は緊急自動車の通行の妨げや交通渋滞に巻き込まれて逃げ遅れる危険があります。
●早期の立退き避難での、病人や要配慮者などを避難させる特別な場合を除いて、車での避難は避けましょう。
●市が指定した水害時の避難所には、駐車場はありません。
●2箇所の商業施設と駐車場を避難場所とする災害協定を締結しています。店舗の営業終了後に開設しますので、市の情報を確認し、利用してください。

※すでに浸水が発生している場合など、危険な状況での車での避難は避けてください。車での避難は移動が安全な場合に限定するようお願いします。

指定避難所は不特定多数の人が集まるため、プライバシーが大幅に制限され、感染症のリスクも高く、特に小さな子どもや高齢者は強いストレスを感じる環境です。
安心した避難のために、安全な場所にある知人や親戚宅、ホテルなどへの宿泊を含め、平時から避難先を検討・相談しておきましょう。



◆浸水しやすい場所の確認を
東京都のホームページで過去の浸水実績を確認できます。
[PC] https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/suigai_kiroku/kako.htm

「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平29情使、第1176号)

水害時の避難の流れ

避難行動では、災害が発生する前に浸水想定区域などから避難する「立退き避難」が基本です。「立退き避難」を行う余裕がない場合や、悪天候により外出することが危険な場合は「屋内安全確保」を行い、身の安全確保を最優先させます。

狛江市洪水、内水ハザードマップを確認する
確認ポイント
●浸水想定区域に入っているか
●どの程度浸水するのか
●浸水の継続時間はどれくらいか
多摩川氾濫時…＿＿m
野川氾濫時……＿＿m
内水氾濫時……＿＿m

自宅は危険な区域内にありますか?
はい → 自宅の状況を確認する
いいえ → 屋内待機

自宅の状況を確認する
確認ポイント
●自宅が2階建て以下で浸水想定が3m以上、もしくは浸水想定区域内で、家屋倒壊等氾濫想定区域に該当しているか

該当していますか?
はい → 浸水想定が0.5m以上に該当していますか?
いいえ → 屋内待機

浸水想定が0.5m以上に該当していますか?
はい → 自宅が堅牢で、2階以上などの避難できる場所はありますか?
いいえ → 屋内待機

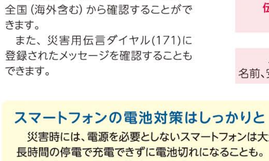
自宅が堅牢で、2階以上などの避難できる場所はありますか?
いいえ → 立退き避難
はい → 屋内安全確保

屋内待機
原則、避難の必要はありません。

警戒レベル3や4が発令されたら、避難を開始しましょう。発令されていなくても身の危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

立退き避難

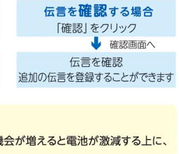
避難情報が発令されたら、早めに安全な場所へ立退き避難を行ってください。指定避難所の他に、安全な場所にある親戚・知人宅なども避難先として考えておきましょう。



屋外への避難が危険な場合は、屋内安全確保を行ってください。

屋内安全確保

高台の安全な場所まで立退き避難をする時間がない、または、移動に危険が伴う、もしくは、移動が困難な場合は、堅牢な建物の浸水しない階層や崖などの危険な場所から最も離れた部屋などへ避難してください。



安否の確認方法

災害用伝言ダイヤル(171)

被災地の方の加入電話・ISDN・ひかり電話・携帯電話・IP電話の電話番号に1伝言当たり30秒(最大20件)まで録できます。なお、固定電話の番号は市外局番から入力します。

171を入力

伝言を録音する場合
1を入力
暗証番号を利用する場合は3を入力
(ガイダンスにしたがって暗証番号を入力)
→ 電話番号を入力 ××××××××××
(被災地域の方の自宅の電話番号を市外局番から入力)
- ダイヤル式電話機: ピッと音がしたら、伝言を録音する(30秒以内) → 電話を切る
- プッシュ式電話機(※): 1を入力 → ピッと音がしたら、伝言を録音する(30秒以内) → 電話を切る 伝言の確認は9を入力

伝言を再生する場合
2を入力
暗証番号を利用する場合は4を入力
(ガイダンスにしたがって暗証番号を入力)
→ 電話番号を入力 ××××××××××
(被災地域の方の自宅の電話番号を市外局番から入力)
- ダイヤル式電話機: 伝言が再生される → 次の伝言を聞く(複数伝言があった場合)
- プッシュ式電話機(※): 1を入力 → 伝言が再生される → 伝言を繰り返す 8を入力 / 次の伝言を聞く 9を入力

※プッシュボタン信号「ピポパ」音が鳴る電話機

災害用伝言板(Web171)

被災地域(避難所など含む)の住居者がインターネットを経由して災害用伝言板(web171)にアクセスし、電話番号を入力して伝言(テキスト)を登録します。登録された伝言は電話番号をキーとして全国(海外含む)から確認することができます。
また、災害用伝言ダイヤル(171)に登録されたメッセージを確認することもできます。

https://www.web171.jp/ へアクセス、もしくはweb171で検索
↓ トップ画面へ
入力フォームに被災地の方の電話番号を市外局番から入力
- 伝言を登録する場合: 「登録」をクリック → 登録画面へ → 入力フォームに入力: 名前、安否状況、伝言(100文字)
- 伝言を確認する場合: 「確認」をクリック → 確認画面へ → 伝言を確認: 追加の伝言を登録することができます

スマートフォンの電池対策はしっかりと

災害時には、電源を必要としないスマートフォンは大活躍します。しかし、使用機会が増えると電池が激減する上に、長時間の停電で充電できずに電池切れになることも。
災害時には、電池を節約する設定に変えましょう。また、日頃からモバイルバッテリーなどを持ち歩く習慣をつけましょう。